

2004. 5. 24

手 続 補 正 書
(法第 1 1 条の規定による補正)

特許庁審査官 伊藤 幸仙 殿

1. 国際出願の表示 P C T / J P 0 3 / 0 7 2 2 7

2. 出願人

名 称 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

PRECISION SYSTEM SCIENCE CO.,LTD.

あて名 〒271-0064

日本国千葉県松戸市上本郷 8 8 番地

88, Kamihongou, Matsudo-shi, Chiba 271-0064, Japan

国 籍 日本国 J A P A N

住 所 日本国 J A P A N

3. 代 理 人

氏 名 (7 5 1 9) 弁理士 土 橋 皓

DOBASHI Akira

あて名 〒105-0001 日本国東京都港区虎ノ門 1 丁目 1 7 番 3 号

第 12 森ビル 6 階

6F, No.12 Mori Building, 17-3, Tranomon 1-chome,
Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan

4. 補正命令の日付 2 3 . 0 3 . 2 0 0 4 (発 送 日)

5. 補正の対象 請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 請求の範囲 1 を『1. 使用者が携帯可能な装置であって、使用者の食物摂取内容を含む生活データの入力可能な入力部と、該生活データを含む基礎データを読み出し可能に格納するデータ格納部と、データの表示を行う表示部とを有し、

前記入力部は、前記食物摂取内容を入力する場合には、使用者の食生活に合わせたパターンを設定し、各食物ごとに一定単位量に分けて選択可能としたことを特徴とする携帯端末装置』と補正する。

(2) 請求の範囲 8 を『8. 前記食物摂取内容を入力する前記入力部は、使用者の食生活に合わせて、予め朝、昼、晩等の生活習慣に基づいたパターンおよび特殊条件による食物摂取パターンを設定し、各食物ごとに、前記一定単位量を多量、中量、少量等の段階に分けて選択可能としたことを特徴とする請求の範囲第 1 項ないし請求の範囲第 7 項のいずれかに記載の携帯端末装置。』と補正する。

7. 添付書類の目録

請求の範囲第 2 4 頁、2 5 頁、2 5 / 1 頁

請 求 の 範 囲

1. (補正後) 使用者が携帯可能な装置であって、使用者の食物摂取内容を含む生活データの入力が可能で入力部と、該生活データを含む基礎データを読み出し可能に格納するデータ格納部と、データの表示を行う表示部とを有し、

前記入力部は、前記食物摂取内容を入力する場合には、使用者の食生活に合わせたパターンを設定し、各食物ごとに一定単位量に分けて選択可能としたことを特徴とする携帯端末装置。

2. 前記携帯端末装置は、使用者の生体内物質に関する測定を行って生体データを得ることができる測定部を有し、前記基礎データは、前記生体データおよび前記生活データを含むことを特徴とする請求の範囲第1項に記載された携帯端末装置。

3. 前記データ格納部は、前記携帯端末装置に対して取り外し可能に設けられたことを特徴とする請求の範囲第1項または請求項第2項のいずれかに記載の携帯端末装置。

4. 前記携帯端末装置には、該携帯端末装置の外部との間でデータの伝達を行うデータ伝達部を設けたことを特徴とする請求の範囲第1項ないし請求の範囲第3項のいずれかに記載の携帯端末装置。

5. 前記生体データには、前記測定部による前記生体内物質に関する測定を行った測定時点を示す測定時点データを含有することを特徴とする請求の範囲第2項ないし請求の範囲第4項のいずれかに記載の携帯端末装置。

6. 前記携帯端末装置の前記測定部は、該携帯端末装置本体に着脱可能かつ情報伝達可能に接続した生体内物質測定機であることを特徴とする請求の範囲第2項ないし請求の範囲第5項のいずれかに記載の携帯端末装置。

7. 前記携帯端末装置の前記表示部、前記入力部またはデータ伝達部は、携帯端末装置本体に着脱可能かつ情報伝達可能に接続した携帯電

話機の表示部、入力部または通信部を用いたことを特徴とする請求の範囲第 1 項ないし請求の範囲第 6 項のいずれかに記載の携帯端末装置。

8. (補正後) 前記食物摂取内容を入力する前記入力部は、使用者の食生活に合わせて、予め朝、昼、晩等の生活習慣に基づいたパターン
5 および特殊条件による食物摂取パターンを設定し、各食物ごとに、前記一定単位量を多量、中量、少量等の段階に分けて選択可能としたことを特徴とする請求の範囲第 1 項ないし請求の範囲第 7 項のいずれかに記載の携帯端末装置。

9. 前記基礎データには、使用者の運動量を表す運動データを含有了
10 したことを特徴とする請求の範囲第 1 項ないし請求の範囲第 8 項のいずれかに記載の携帯端末装置。

10. 前記携帯端末装置と一体に、又は、前記携帯端末装置と別体に形成され、該装置を携帯する使用者の前記運動量を測定して運動データの一部または全部を得る運動量測定機を有することを特徴とする請求の範囲第 1 項ないし請求の範囲第 9 項のいずれかに記載の携帯端末装置。
15

11. 指定された前記運動データの一部または全部は、前記入力部から入力されることを特徴とする請求の範囲第 1 項ないし請求の範囲第 10 項のいずれかに記載の携帯端末装置。

- 20 12. 前記携帯端末装置には、前記基礎データに基づいて、臨床データを作成する臨床データ作成部を有することを特徴とする請求の範囲第 1 項ないし請求の範囲第 11 項のいずれかに記載の携帯端末装置。

13. 前記臨床データ作成部は、食物摂取との因果関係を示す表を作成し、データの臨床解析対応グラフ化を行うことを特徴とする請求の
25 範囲第 12 項に記載の携帯端末装置。

14. 前記臨床データ作成部は、一日の摂取限度カロリーと、一日の摂取カロリーとの差に基づいて、その日の摂取可能量を作成することを特徴とする請求の範囲第 11 項に記載の携帯端末装置。

15. 前記携帯端末装置には、蓄積した基礎データ又は臨床データ

を統計的に処理した資料を作成する資料作成部を有することを特徴とする請求の範囲第1項ないし請求の範囲第14項のいずれかに記載の携帯端末装置。

16. 使用者が携帯可能な携帯端末装置からなる携帯端末装置群と、